

## 平成30年北海道胆振東部地震における宮城 DMAT の活動について

## 1 DMAT（災害派遣医療チーム）関係

## ○9月6日（発災初日）

03:08 北海道で最大震度7の地震が発生

14:18 厚生労働省 DMAT 事務局より、東北ブロック DMAT に派遣要請。  
→みやぎ県南中核病院川上医師に県内 DMAT の調整を依頼

17:30 頃 DMAT 3 チーム(18 人)の派遣決定・出発  
石巻赤十字病院(6 人)、仙台医療センター(7 人)、東北医科薬科大学病院(5 人)  
参集場所：札幌医科大学附属病院（札幌市）  
※東北各県（新潟県含む）からそれぞれ派遣

## ○9月7日（発災2日目）

昼頃 現地に到着，支援業務開始

<活動内容：札幌医療圏活動拠点本部に所属>

札幌市内外の医療機関に出向き，状況確認・EMIS（広域災害救急医療情報システム）代行入力  
人工呼吸器患者を札幌医大に搬送

## ○9月8日（発災3日目）

- ・石巻赤十字病院及び東北医科薬科大学病院は，医療機関の状況確認，EMIS 代行入力（本部にて電話確認が中心）等。
- ・仙台医療センターは，本部業務の夜勤（18 時～翌 9 時）
- ・東北医科薬科大学病院が夕刻撤収

## ○9月9日（発災4日目）

- ・石巻赤十字病院及び仙台医療センターが撤収
- ・帰県開始

## ○9月10日（発災5日目）

- ・3 チームの帰院を確認
- ・宮城 DMAT の活動終了

## 2 DMAT ロジスティックチームの活動

- ・DMAT ロジスティックチームとして，宮城 DMAT から1 名を派遣  
活動内容：DMAT 活動の業務調整支援（派遣対象者 37 名は国で決定）  
派遣者：山内 聡 医師（大崎市民病院救命救急センター長）  
活動場所：旭川地区の活動拠点本部  
活動期間：9 月 7 日（金）から 9 月 9 日（日）
- ・9 月 10 日：帰院を確認